

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【公表番号】特表2015-519847(P2015-519847A)

【公表日】平成27年7月9日(2015.7.9)

【年通号数】公開・登録公報2015-044

【出願番号】特願2015-515248(P2015-515248)

【国際特許分類】

H 03 H 9/17 (2006.01)

H 03 H 9/02 (2006.01)

H 03 H 3/02 (2006.01)

【F I】

H 03 H 9/17 F

H 03 H 9/02 G

H 03 H 3/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月19日(2016.4.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

統合共振器装置であって、

圧電性共振器と、

前記圧電性共振器に近接して形成される音響プラックリフレクタと、

前記プラックリフレクタの前記圧電性共振器とは反対の側で前記プラックリフレクタの

上に形成される質量バイアスと、

を含む、統合共振器装置。

【請求項2】

請求項1に記載の統合共振器装置であって、

前記質量バイアスがアルミニウム銅を含む、統合共振器装置。

【請求項3】

請求項1に記載の統合共振器装置であって、

前記圧電性共振器に対する電気的コンタクトのための、或る材料で形成される、複数の電気的コンタクトパッドを更に含み、前記質量バイアスが前記コンタクトパッドと同じ材料で形成される、統合共振器装置。

【請求項4】

請求項1に記載の統合共振器装置であって、

前記質量バイアスと音響プラックリフレクタと圧電性共振器とを封止する、プラスチックモールド充填を更に含む、統合共振器装置。

【請求項5】

請求項1に記載の統合共振器装置であって、

前記質量バイアスが約1ミクロンの厚みである、統合共振器装置。

【請求項6】

ブラックリフレクタを備えた圧電性共振器を形成する方法であって、

基板の上に低音響インピーダンス材料と高音響インピーダンス材料との交互の誘電体層

を堆積することと、

前記交互の誘電体層の上に第1の共振器電極を堆積することと、

前記第1の共振器電極の上に圧電性層を堆積することと、

前記圧電性層の上に第2の共振器電極を堆積することと、

前記共振器の上に質量バイアスを堆積することと、

前記質量バイアスと第1及び第2の共振器電極と圧電性層と交互の誘電体層とをプラスチックで封止することと、

を含む、方法。

【請求項7】

請求項6に記載の方法であって、

前記第2の共振器電極と前記質量バイアスとの間に、低音響インピーダンスと高音響インピーダンスとの交互の誘電体層の第2のセットを堆積することを更に含む、方法。

【請求項8】

請求項6に記載の方法であって、

前記質量バイアスが堆積されるときに前記質量バイアスと同じ材料の電気的コンタクトパッドを堆積することを更に含む、方法。